

Ⅲ 九電グループにおける環境活動の取り組み状況

九電グループは、これまで培われた技術やノウハウを活かし、電気事業を始めとする「総合エネルギー事業」を中核に、「情報通信事業」、「環境・リサイクル事業」および「生活サービス事業」など幅広く事業を展開しています。

これらすべての事業活動において、環境保全を企業の社会的責任と認識し、グループ一体となって環境活動に取り組んでいます。

1 環境マネジメント体制

九電グループでは、環境活動への基本的な取り組み姿勢を示した「環境理念」、及びそれを具体的に実行する際の考え方を「環境方針」として設定しています。

九電グループ環境理念

九電グループは、エネルギー供給を中核とするすべての事業領域において、環境保全意識の重要性を認識し、豊かな社会とより良い地球環境の実現を目指します。

2002年5月

九電グループ環境方針

- 1 環境保全に関わる法関連規制の遵守により、社会的責任を遂行します。
- 2 循環型社会の形成を目指して、エネルギーや資源の有効利用、廃棄物の再資源化により、環境負荷の低減に努めます。
- 3 あらゆる環境課題に積極的に取り組み、継続的な環境活動を通して、広く社会に貢献します。
- 4 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

2002年5月

環境経営推進体制

九電グループではこれまで、グループ会社27社で構成する「グループ経営協議会 グループ環境経営推進部会」で、九電グループとしての環境経営を推進してきましたが、2003年度からは、新たに14社を加えた41社での取り組みを始めています。

具体的には、「グループ経営協議会」で審議・了承された九電グループ環境活動計画に基づき、各社が環境活動を実施し、1年間の活動状況について「グループ環境経営推進部会」並びに「グループ経営協議会」が分析・評価し、次年度計画を策定するというPDCAサイクルを回すことでグループとしての環境経営のスパイラルアップを図っています。

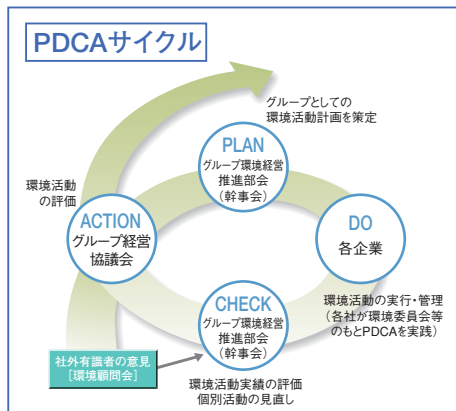
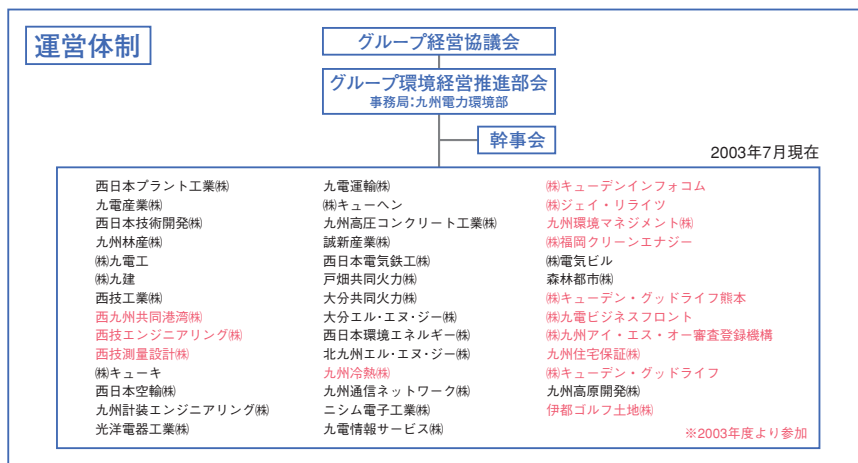
なお、新規参加の14社については、各社で、環境委員会の設置や、関連

規程の策定、環境負荷把握手順の確立などPDCAを回すための体制整備を実施し、順次九電グループ環境活動計画に取り組むこととしています。

九電グループEMS構築体制基準

九電グループでは、グループ一体となった環境経営の推進にあたり、各社における環境マネジメントシステム（EMS）の段階的な取り組みが可能となるよう、EMSの構築体制を構築レベルに応じて区分した統一的な基準を導入しています。

2002年度はグループ27社全てで環境委員会を設置し、各社毎に環境活動のPDCAサイクルを回す体制を整えましたので、2003年度からは九電グループEMS構築体制基準に基づき、各社の実状に合った構築レベルを設定し、レベル向上を図ることにしています。



グループ環境経営推進部会（2003年8月7日開催）

■ 九電グループEMS構築体制基準の構築レベル概要 (1)

構築レベル	構築内容	評価	
		基準	評価者
第1段階	全社で環境方針を策定し、目標達成のための体制が確立している。 〔環境方針・環境目標・管理体制〕	EMS構築体制基準第1段階にて適合率90%以上	九州電力株式会社 環境部
第2段階	事業所単位で環境方針を策定し、目標（計画書）達成のための管理体制が確立している。また、文書に基づき活動を実施し、評価する体制となっている。	EMS構築体制基準第2段階にて適合率90%以上	
第3段階	事業所単位でISO14001要求事項17条項全条項について簡易的にシステムを構築している。 (将来「ISO14001」認証取得を目標とする段階)	EMS構築体制基準第3段階にて適合率90%以上	
第4段階	事業所単位でISO14001の要求事項を満足した準拠システムを構築している。	EMS構築体制基準第4段階にて適合率90%以上	
第5段階	事業所単位でISO14001認証取得	EMS構築体制基準第5段階・第6段階にて適合率90%以上	審査登録機関
第6段階	全社レベルでISO14001認証取得		

■ 九電グループEMS構築体制基準の構築レベル概要 (2)

構築レベル		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
項目	全社	○					○
	本社・事業所		○	○	○	○	
構築内容	環境方針（宣言）	環境方針 環境目標 管理体制	本社 ・環境方針 ・目標 ・計画書 ・文書（体制） ・活動 ・評価 事業所 ・環境方針 ・目標 ・計画書 ・文書（体制） ・活動 ・評価 事業所 ・環境方針 ・目標 ・計画書 ・文書（体制） ・活動 ・評価	本社 ISO14001 17条項 要求事項の簡易版 事業所 ISO14001 17条項 要求事項の簡易版 事業所 ISO14001 17条項 要求事項の簡易版	本社 ISO14001 17条項 要求事項 事業所 ISO14001 17条項 要求事項 事業所 ISO14001 17条項 要求事項	本社 ISO14001 17条項 要求事項 事業所 ISO14001 17条項 要求事項 事業所 ISO14001 17条項 要求事項	ISO14001 17条項要求事項 4.2 環境方針 4.3.1 環境側面 4.3.2 法的及びその他の要求事項 4.3.3 目的及び目標 4.3.4 環境マネジメントプログラム 4.4.1 体制および責任 4.4.2 訓練、自覚及び能力 4.4.3 コミュニケーション 4.4.4 環境マネジメントシステム文書 4.4.5 文書管理 4.4.6 運用管理 4.4.7 緊急事態への準備及び対応 4.5.1 監視及び測定 4.5.2 不適合並びに是正及び予防処置 4.5.3 記録 4.5.4 環境マネジメントシステム監査 4.6 経営層による見直し
	環境管理レベル	30	40	60	90	95	100
ISO14001		—			準拠システム（自己宣言）	認証取得	

■ ISO14001認証取得状況

グループ会社の自主的な取り組みにより、既に4社でISO14001の認証を取得しています。

会社名	取得時期	認証の範囲
(株)九電工	1999年12月	本社のみ
西日本環境エネルギー(株)	2000年10月	全社
九電産業(株)	2002年12月	環境部のみ
(株)キューキ	2003年3月	全社

■ EMSの構築状況

株式会社キューキ

環境にやさしい“21世紀型企業”を目指して

地球温暖化などの環境問題は、早急に改善をしなければならない重要な社会問題となっており、これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムから循環型社会への転換が求められています。

このような時代背景の中、株式会社キューキでは、従業員一人ひとりが環境活

動の自覚をし、自らができる環境保全への取り組みを強く推進・実施し、そして次の世代により良い環境を残す使命があると考えています。

環境にやさしい“21世紀型企業”を目指して、全社での環境マネジメントシステムの構築を行い、2003年3月にISO14001を認証取得し、環境活動の継続的改善を行っています。

主な環境活動

- ☆ 環境管理審議会の定期的開催による環境活動の推進
- ☆ PRTR対象物質の管理方法の整備や使用量、移動量の把握管理の徹底
- ☆ 製品の省エネ・省資源を考慮するため環境面の評価を設計段階で実施
- ☆ 事務用品やOA機器のグリーン調達推進
- ☆ 廃棄物のリサイクルおよび社内文書のペーパーレス化の推進
- ☆ 敷地外周辺道路などの定期的清掃と地域清掃奉仕活動への積極的取り組み

環境方針

基本理念

- ・ 私たちは、地球環境にやさしい“21世紀型企業”を目指し、環境保全と企業の成長を両立させ、広く社会に貢献します。
- ・ 私たちは、すべての企業活動において、環境問題を重点課題とし、環境に配慮した製品やサービスを提供します。
- ・ 私たちは、次の世代により良い環境を残すため、企業としてはもちろん従業員一人ひとりが環境負荷の低減に努めます。

行動指針

1. 環境保全に関わる法規制や協定を遵守し、社会的責任を遂行する。
2. 環境活動の継続的改善を行うとともに、環境汚染の予防に努める。
3. 企業活動の環境影響に応じた環境目的・目標を設定し、その運用を評価して必要な見直しを行う。
4. 循環型社会の形成を目指して、エネルギーや資源の有効利用、廃棄物の再資源化に努める。

2002年11月1日
株式会社キューキ
代表取締役社長 小野 耕一

西日本環境エネルギー株式会社

人 地球にゆたかな未来

西日本環境エネルギー(株)は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であると認識し、事業活動を通じて、地球環境保全に貢献することができると考えております。

当社では、これらを実現するため、環境マ

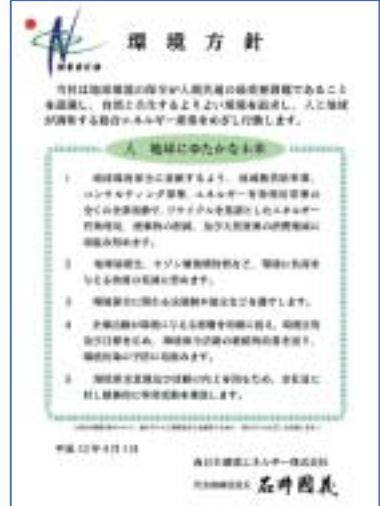
ネジメントシステムを構築し、2000年10月6日に、全事業活動において、ISO14001の認証取得をいたしました。

現在も、継続的な活動として、リサイクルを基調とした、エネルギー有効利用、廃棄物の削減、天然資源の削減等に取り組み、環境保全活動を推進すると共に、持続的発展が可能な社会づくりへの貢献を目指しています。

また、これまでの事業活動を通じ、蓄積してきた知見及び技術を地域社会に還元・普及させるべきとの観点に立ち、2002年度よりISO14001認証取得コンサルティング事業を開始しています。

主な環境活動

- ☆ 特定フロンの使用全廃へ向けた活動
- ☆ オフィス消費電力の低減活動
- ☆ リサイクル及びペーパーレス化による用紙削減活動
- ☆ 事務用品のグリーン調達推進活動
- ☆ 環境に配慮したエネルギー有効利用の提案活動
- ☆ バイオマスエネルギー事業の推進活動



大分共同火力株式会社

環境保全活動への取り組み

大分共同火力(株)では、事業活動が環境に与える影響と環境問題への取り組みの重要性を認識し、平成15年4月15日「環境方針」を策定、4月17日「環境管理規程」を制定しました。5月に2回の環境管理委員会を開催し、環境方針に基づく教育計

画及び環境活動計画を決定しました。環境活動計画では、コピー用紙の削減、オフィス電力の削減及び廃棄物の適正な処理と再資源化等の目標設定を行い環境活動を実施していきます。

また、法関連規則及び関係自治体との協定を遵守するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り環境保全に努めます。

目標設定

- ☆ コピー用紙の削減【前年度比10%の削減】
- ☆ オフィス電力量の削減【前年度比1%の削減】
- ☆ 薬品関係の使用量の削減【前年度比10%の削減】
- ☆ 地球温暖化物質(フロン、SF₆)の排出ゼロ
- ☆ 廃棄物(EP灰、汚泥ケーキ、古紙)の再資源化の検討等の設定目標を達成するため環境活動を行います。

環境方針

環境理念

当社の事業活動が環境に与える影響及び環境保全活動への取り組みの重要性を認識し、より良い地球環境の実現に向けての環境管理活動を推進する。

環境方針

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を把握し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境保全に努める。
2. 環境保全に関わる法関連規則及び関係自治体との協定を遵守し、社会的責任を遂行する。
3. 循環型社会の形成を目指し、エネルギー及び資源の有効利用並びに廃棄物の適正な処理と再資源化に努める。



2003年4月15日 大分共同火力株式会社 代表取締役社長